

令和5年8月31日

読谷村議会
議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員
長 濱 宗 則 印

一般質問通告書

第528回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>1 長期停電に於ける抜本対策について 台風6号による停電は34市町村で最大21万5,800戸に及んだ。読谷村でもほぼ7割が停電した。その影響は食料品、給水、携帯電話等に大きな影響が生じた。うるま市は市庁舎の公共施設に63ヶ所の公民館を含む72ヶ所に避難所を開設し市民の充電拠点を拡大した。</p> <p>(1) 災害時での村内24自治会との連携。</p> <p>(2) 防災グッズにモバイルバッテリーの追加を奨励すべきでは。</p> <p>(3) ハザードマップの有効活用啓発すべきでは。</p>	
<p>2 最終処分場の冠水について 読谷村儀間の一般廃棄物最終処分場が台風6号の大雨で冠水したため草木が搬入出来ず、搬入出来るまで数日要した。</p> <p>(1) 冠水の原因は。</p> <p>(2) 草木破碎機械への被害は。</p> <p>(3) 搬入再開の村民への広報は。</p>	

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>3 ウチナーグチの普及活動について 沖縄県において本土化の一環として日本語教育が図られたのを境にウチナーグチの衰退の始まりであったとの考えもある。 消滅危機のウチナーグチを保存継承が叫ばれ沖縄県は「しまくとばの日に関する条例」制定し、しまくとうば普及センターを設置して普及活動につとめている。</p> <p>(1) 読谷村でのしまくとうば普及活動は。</p> <p>(2) 学校科目に組み入れることはできないか。</p> <p>(3) ウチナーグチ普及の課題と今後の対応は。</p>	
<p>4 読谷村観光大使設置要項から、(設置)第1条 本村の観光資源の魅力ある情報を国内外に発信し、村外の知名度向上と観光産業の発展を図るため、読谷村観光大使を設置する。</p> <p>(1) 平成24年8月7日要項第9条発令後、観光大使に就任された氏名と職業を問う。</p> <p>(2) 選考基準は。</p> <p>(3) 観光大使の職務と報酬等は。</p>	
<p>5 国の文化審議会は琉球古典音楽保持者人間国宝に読谷村出身の大湾清之氏を文部科学省に答申した。県内の人間国宝は17名で、工芸技術分野6名、芸能分野11名となる。大湾氏の人間国宝認定は名誉であり、読谷村民の誇りであります。今まで人間国宝に輝いた花織の与那嶺貞氏、紅型の玉那覇有公氏、陶芸の金城次郎氏は読谷村名誉村民の称号が与えられております。</p> <p>(1) 読谷村名誉村民条例(目的)、歴史の進展と社会の発展に貢献し、広く文化の功績があった者に対しその功績を讃え、持つて村民の敬愛の対象として顕彰することを目的としております。今回の大湾清之氏への称号は。</p> <p>(2) 読谷村名誉村民の選定にあたっての手順は。</p> <p>(3) 名誉村民の待遇は。</p>	